

第3回 公開講座 「幼稚園・保育園ってどんなところ？」

開催日時 2017年10月10日 11:00~11:30
参加人数 7組(子ども7名 保護者5名 計12名)

当日は3連休明けのせいか、参加者が少なかったのですが、参加された方は内容を楽しみに来られたようでした。

当日の流れは表1のとおりです。最初は子どもたちがその場の雰囲気慣れ喜んで活動に参加できるように、「袋の中から」の歌に合わせて何が出てくるかを楽しむ遊びを行いました。「ポッ」という歌詞を母親と一緒に言うことで楽しさが味わえ、興味が高まってきました。その雰囲気を大切にしながら親子でふれあい遊びを楽しみました。当日行った3つの遊びは、全て物は使わないでまさに親子が体を使って触れ合いながら楽しめる遊びを紹介しました。「どこでも・いつでも・

活動の流れ

- みんなで集まる
 - ・「袋の中から」の歌遊び
(歌に合わせて袋から何が出るか楽しむ)
- 親子でふれあい遊びをする
 - ・「大型バス」
(お母さんの膝に子どもを座らせて歌に合わせて色々なバスの運転をする)
 - ・「一本橋こちょこちょ」
(歌に合わせてお母さんがくすぐる遊び)
 - ・「ゆらゆらブランコ」
(お母さんが子どもを抱っこしたり手首を持ったりして、歌にあわせてゆする)
- 身近にある物で遊ぼう
 - ・新聞紙でトンネル作り
 - ・トンネルくぐり
 - ・新聞紙を使って「いないいないばあっ！」
- 保護者の方へのお話
「幼稚園・保育園ってどんなところ？」
 - ① 幼稚園・保育園・認定こども園はどう違う？
 - ② 保育施設の選び方
 - ③ 質問タイム

表1 当日の流れ

誰とでも」できる遊びであることを参加者のみなさんに説明して「病院の待ち時間でもできますよ。」と例をあげると、「なるほど。」とうなずいておられました。

次に身近にある物を使っての遊びを紹介しました。新聞紙でのトンネル作りや作ったトンネルをくぐる遊びでは、最初はびっくりして見ていましたがだんだんと楽しさがわかり始め何度もトンネルをくぐって笑顔や歓声も聞こえるようになりました。お母さんの体が一番の遊具であることや遊具ではなくても身近にある物を使って十分に遊びを楽しめることを感じていただくことができました。

最後に、本日のメインテーマである「幼稚園・保育園ってどんなところ？」の短い講話を行いました。兄や姉のいるお子さんは、現在幼稚園に通わせているご家庭もあり、保護者の方のご意見も聞きながら話を進めていきました。安佐南区でも、幼稚園や保育園だけでなく認定こども園や小規模保育園等も増えていることからそれらの概要等の説明も行うと、とても参考になったようでした。参加していた子どもたちが3歳未満児であったことから、「保育施設ってどうやって選んだらいいの？」の話は興味深く聞いておられました。当日配付したプリントは図2のとおりです。

終了後、「お話を聞いて改めて認定こども園や小規模園のことがわかりました。」「園を選ぶ時の参考になります。」という感想をいただき、短時間ではありましたが、参加者の方には参考になる公開講座になったのではないかと感じました。

(文責：合原 晶子)

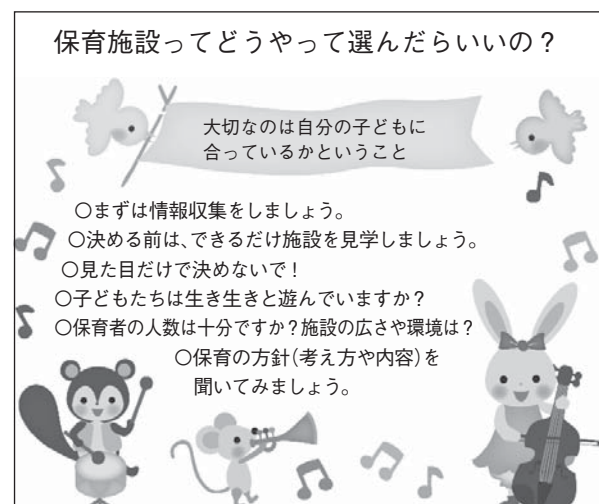


図1 参加者への配付プリント